

技術家庭科（技術分野）	第 3 学年	使用教科書 ・教材等	「新編新しい技術・家庭 技術分野」東京書籍 ファイル その他	担当者	奥田邦弘
【学習目標】 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成を目指す。					
◎目指す授業は…聞く、話す、考える、行動することが自主的にできる態度を身につける。 ○生活に必要な技能と知識を身につけることができる。 ○進んで生活を工夫し創造する能力を身につけることができる。 ○積極的に作業したり、個性を最大限に活かした作品作りをしたりする実践的な態度を身につける。					

授業の時のアドバイス	家庭学習の時のアドバイス
私たちの生活を支えているエネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響、エネルギー変換の技術の在り方や活用の仕方等を客観的に評価判断することについて学びます。 ○授業をしっかりと聞こう ○ノートをしっかり取ろう。 ○見方・考え方を働かせてさまざまな問題を解決していこう。 ○学習したことを活かして、実習に取り組んで行こう。	○ノートや教科書の内容を復習しよう。 （次の時間の作品作りの見通しが持てるようになります） ○学習したことを生活に活かそう。 （生活を工夫し創造する能力と実践的な態度が大切です） ○技術に関するニュースなどにも注目していこう。

学期	学習する内容	学習の狙い（身につけたい力）	授業で使うもの
1 学 期	2 編 エネルギー変換に関する技術 1 章 エネルギー変換と利用 ・エネルギー変換について知ろう ・電気を作る仕組みを知ろう ・電気を供給する仕組みを知ろう ・電気回路について考えよう 実習 延長コードの製作	○エネルギー変換、エネルギー変換効率について知る。 ○さまざまな発電方式の特徴と課題を知る。 ○電源の種類と特徴、送電の方法を知る。 ○電気エネルギーを利用する仕組みを知る。 ○電気エネルギーを、光、運動、熱、その他のエネルギーに変換する仕組みを知る。	教科書 プリント ファイル
2 学 期	・電気機器を安全に使用しよう 2 章 製作品の設計・製作 ・エネルギー変換を利用した製作品を作ろう 実習 LEDライトの製作	○電機による事故の原因を知り、防止する方法を知る。 ○機器の異常や不具合の状況を説明できる。 ○身の回りの電気機器の保守点検の仕方を知る。 ○部品を適切に調節しながら組み立て、製作品を製作できる。	
3 学 期	3 章 エネルギー変換に関する技術の評価・活用 ・エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう	○エネルギー変換に関する技術について、環境的、経済的、社会的側面から評価できる。 ○エネルギー変換に関する技術について、自分なりの活用方法を考えることができる。	
※テストの予定 単元毎にテストや小テストを実施予定しています。 ※学習状況に応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。			

通知表の付け方			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	生活や技術について基礎的な理解を深めるとともに、それらに係る知識・技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決を目指して評価・改善し、表現するなど適切に工夫・創造している。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し充実向上するために主体的に実践しようとしている。
評価方法	単元・小テスト 作品 実技テスト 振り返りシート など	単元・小テスト レポート 作品 振り返りシート パフォーマンステスト など	パフォーマンステスト レポート 振り返りシート 学習の整理 など